

季刊 民族学

[目次]

- 003 | 特集 |
**生き物と
現代文明**
- 004 人類と生き物からみた
現代文明
池谷 和信
- 014 命の重さを量る
遠藤 秀紀
- 022 貝殻に雨粒が宿れば。
— 20世紀前半、世界商品化する真珠と
ペルシア湾の採集者たち
鈴木 英明
- 030 いのちの表現
橋本 麻里
- 040 「糞」の生態史でみた
江戸時代
磯田 道史
- 044 都市の庭にみる植物と人
— 東京・谷中の住宅の庭から
高野 哲司
- 052 人間の心、ロボットの心
高橋 英之
- 060 地球主義とミュージアム
— 人新世における
生物多様性の理解に向けて
野林 厚志
- 069 「いのち」をめぐる
文明的課題の解決に向けて
— 比較文明学会第38回大会を終えて
中牧 弘允
- 074 モノから見た宗教の世界 第3回
聖なるものの時・場所・かたち
— フィリピンの聖母崇敬の実践から
古沢 ゆりあ
- 083 それでも、獅子は旅を続ける
— 伊勢大神楽の回壇の記録
神野 知恵
- 094 世界遺産の村に生きる
— 東北タイ、バーンチェン遺跡の現在
中村 真里絵
- 表紙 ロバ車で移動するカラハリ砂漠の家族
写真・文＝池谷 和信
- 写真提供・協力
関西・大阪 21世紀協会、比較文明学会、ジョーンズ・ホプキンス大学
コロナウイルス資源センター、前川貴行、663highland、Barbara
Fraatz、東京大学総合研究博物館、Sodacan、オランダ国立ライ
デン古代博物館、ナショナル・ポートルート・ギャラリー、Didier
Descouens、Liné1、永青文庫、京都国立博物館、清涼寺、唐招提寺、
東京国立博物館、香川県立ミュージアム、松平公益会、国立国会図書館、
神奈川大学日本常民文化研究所、国際日本文化研究センター、おおえさき、
Adrian Grycuk、国立故宮博物院、Teomancimit、Frank Vassen、
国立科学博物館、Alan D. Wilson、Malene Thyssen、Diginatur、
japanbearandforestsociety、Mohammad Abuzar photography、
Tambako The Jaguar、Melvin TOULLEC、Merlin、Prof saxx、
Anna Babich、2025年日本国際博覧会協会、伊勢大神楽講社、三
木隆美、糸びすや荒木旅館、バーンチェン国立博物館、Wikimedia
Commons、INTERNET ARCHIVE、Pixabay、iStock.com
- 本文中、撮影者・提供者を記載していない写真は執筆者の撮影・提供
によるものです。